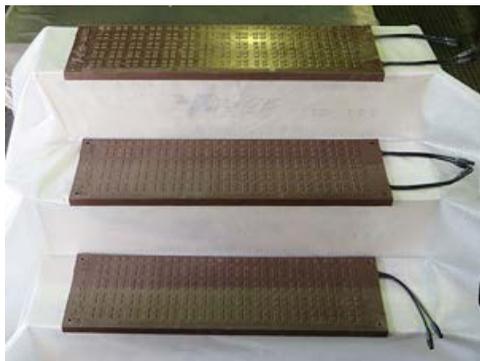


## ソーヒーター標準品(階段用) 連結方法

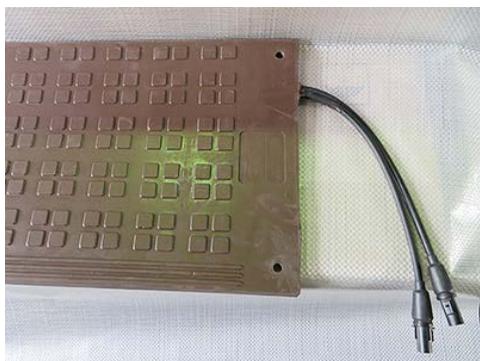


- ソーヒーター階段用は、連結して使用することが出来ます。100V仕様の場合、TD-85Sなら18枚まで、TD-120Sなら8枚まで連結して使用出来ます。
- この製品は、階段の上側が電源になっております。ケーブル取出口は階段の上りに向けて右または左を選ぶことが出来ます。（ご注文時にご指定下さい。）では、TD-85Sの右勝手を3枚連結する場合について具体的に見ていきましょう。
- ※平成27年9月出荷分より仕様変更となっております。変更点は以下の2点です。

① 連結コネクタの形状が変更となっております。すでにお持ち

の従来品との連結を希望されるお客様はご相談下さい。

② 固定用のプレートがなくなっており、代わりにマット本体に固定用穴を4箇所もつけております。固定用プレート付の製品は製造出来ませんのでご了承下さい。



エンドタイプ



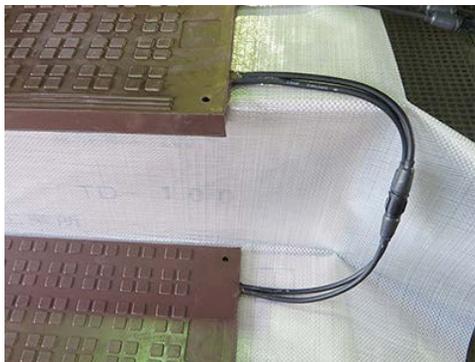
中タイプ

この製品には、「エンドタイプ」と「中タイプ」があります。設置する場合、階段の一番下の段が「エンドタイプ」になります。あとは「中タイプ」になります。付属の電源ケーブル（1.5m）は、一番上の段に設置する「中タイプ」に接続します。



エンドタイプと中タイプの連結

- 「エンドタイプ」には次のマットに連結するケーブルが2本、「中タイプ」には、下のマットから連結するケーブルが2本、上のマットに連結するケーブルが2本の合計4本のケーブルが出ています。それぞれオス、メスで1組になっておりますので、次のマットのメス、オスに連結していきます。



中タイプと中タイプの連結

順次下のマットと上のマットを連結してゆきます。



最上段の中タイプの上側の連結ケーブルと電源ケーブルを接続します。



良い例



悪い例

ケーブルを連結するときは、先端についているコネクタの凹凸が完全に突き合わせになるまでしっかりとはめ込んで下さい。不完全な接続だと通電不良や漏電の原因となります。



良い例

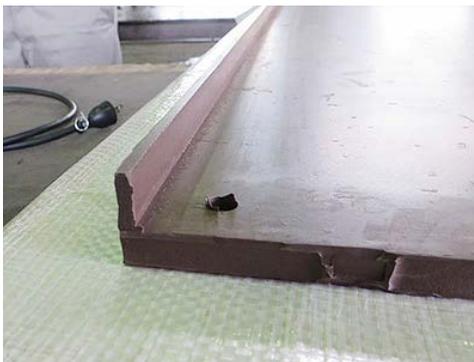


悪い例

連結ケーブルの接続を行う際は、必ずコネクタ部を持って行って下さい。特に、収納時に連結をはずす場合は、絶対にケーブルを持って引っ張らないようにして下さい。ケーブルを持って引っ張ると故障の原因となります。



横から見た様子



裏返すとこうなっています。

この製品は階段用なので、段の先端部にL字に折れ曲がった部分があります。必ず階段用としてご使用下さい。

※ 平坦な場所で敷設するなどの目的でL字部分をお客さまが切り取ってしまったものは製品保証の対象外となりますのでご注意ください。